

学校法人塚本学院
大阪芸術大学グループ
ビジョン 2025



contents

目次	1
ごあいさつ	2
塚本学院の使命およびビジョン	3
塚本学院の沿革	4
[理念およびビジョン2025]	
大阪芸術大学	5
大阪芸術大学短期大学部	9
大阪芸術大学附属大阪美術専門学校	11
大阪芸術大学附属幼稚園	13



ごあいさつ



学校法人塚本学院 大阪芸術大学
理事長・学長・学院長 名誉文学博士
塚本 邦彦

本学は、1945年（昭和20年）10月に創立し、2020年に創立75周年を迎えます。創設者である塚本英世初代理事長・学長は、自由で明るく民主的な社会や国家を築く原動力として教育の普及や学術の発達に力を尽くし、今日の学校法人塚本学院・大阪芸術大学グループの礎を築きました。

現在、本学院は、大阪芸術大学、大阪芸術大学短期大学部、大阪芸術大学附属大阪美術専門学校、そして4つの附属幼稚園を展開する、芸術を核とした総合教育機関となっています。

75年に及ぶ歴史と伝統を受け継ぎながら、今後も発展し続けるための中期構想として、このたび大学・短期大学部・専門学校・幼稚園それぞれにおける「ビジョン2025」を策定いたしました。これは各教育機関の源泉となる建学の精神や教育理念を現在および未来の視点からあらためて見つめ直し、2020年を起点にさらなる進化を目指す5年間の指針として構築したものです。

時代や社会の進展がさらに加速する中、将来起こりうる環境変化を見通しながらも、本学院の行動基準となるのは「学び手のためになるのか、ならないのか」の一点に尽きます。その原点を胸に刻み、これまでの軌跡を踏まえつつ来るべき100周年を展望し、当面する2025年の80周年に向けて目指す方向性を明確に認識し、一歩ずつ着実な歩みを続けてまいります。

学校法人塚本学院の使命

本学院は、知と愛の精神に基づく「学」と「芸」の教育と研究を通して、心身ともに健全で社会に新たな息吹をもたらす人材を育成し、世界の平和と人類の福祉に貢献することを使命とします。

学校法人塚本学院のビジョンと思い

社会と未来に求められる教育機関

本学院は、戦後の混乱期にあって外国語教育の需要に応えるべく創設者・塚本英世初代理事長・学長が「平野英学塾」を設立したことに始まります。また戦後の子どもたちの教育環境を向上させるための活動を端緒とする保育・幼児教育への取り組みをもう一つの源流とし、さらに本格的な戦後復興のために芸術教育が不可欠であるとの思いから芸術大学を開設。約10年間で当初の2学科より14学科体制となって総合芸術大学としての地歩を固め、その後も従来の専門領域に捉われず新学科を積極的に設置し、現在では芸術のほぼ全てのジャンルをカバーしています。

常に時代の要請に応じて進展し、世の中で幅広く活躍する人材を輩出してきた歴史を鑑み、これからも社会および次代を担う若者たちから求められ、選ばれる学び舎として進化し続けます。また芸術の学びは、専攻した領域を活かした仕事に就くか否かに関わらず、その後の人生を豊かにする礎となります。

全ての卒業生が本学で学んだことを誇りとし糧として、それぞれの場所で輝き、豊かな未来を築いていける教育機関を目指します。

沿革

- 昭和20年(1945) 初代理事長・学長故塚本英世により、平野英学塾創設。
- 昭和21年(1946) 財団法人浪速外国語学校(3年制)を創立。平野英学塾を發展的解消。
- 昭和26年(1951) 浪速外国語短期大学英语科及び学校法人浪速外語学院を設立。
- 昭和27年(1952) 大阪幼稚園教員養成所を設置。
- 昭和28年(1953) 浪速外国語短期大学附属幼稚園を設置。
- 昭和29年(1954) 浪速外国語短期大学に保育科を増設と同時に、大阪幼稚園教員養成所を發展的解消。
浪速外国語短期大学を浪速短期大学に改称。巡回保育青い鳥幼稚園を開始。
- 昭和30年(1955) 浪速短期大学に通信教育部保育科を増設。
- 昭和32年(1957) 大阪美術学校(各種学校)を設置。
- 昭和33年(1958) 浪速短期大学附属昭が丘幼稚園を設置。
- 昭和34年(1959) 大阪市東住吉区矢田に法人本部を移転。
- 昭和35年(1960) 浪速短期大学にデザイン美術科・広報(マス・コミュニケーション)科を増設。
- 昭和37年(1962) 浪速短期大学商業科・デザイン美術科に専攻科を増設。
- 昭和38年(1963) 浪速短期大学通信教育部にデザイン美術科・広報(マス・コミュニケーション)科を増設。
- 昭和39年(1964) 浪速芸術大学芸術学部美術学科・デザイン学科を設置。
- 昭和41年(1966) 学校法人浪速外語学院を学校法人塚本学院に改称。浪速芸術大学を大阪芸術大学に改称。
- 昭和42年(1967) 大阪芸術大学芸術学部建築学科・文芸学科を増設。
- 昭和43年(1968) 大阪芸術大学芸術学部音楽学科・放送学科を増設。浪速短期大学附属金剛幼稚園を設置。
- 昭和44年(1969) 大阪音楽センターを設置。
- 昭和45年(1970) 大阪芸術大学芸術学部写真学科・工芸学科を増設。大阪芸術センターを設置。
- 昭和46年(1971) 大阪芸術大学芸術学部環境計画学科・音楽教育学科・演奏学科・映像計画学科を増設。
- 昭和47年(1972) 大阪音楽専門学校(各種学校)を設置。米国美術大学連盟加盟校との夏期特別セミナー(第1回)開講。
以後、毎年本学及びカリフォルニア美術工芸大学等を会場として交互に開講。
第1回日韓3大学デザイン美術交流展開催。以後、大阪及びソウルを会場として開催。
- 昭和48年(1973) 大阪芸術大学芸術専攻科(美術・デザイン・建築・文芸・音楽各専攻)を設置。
- 昭和49年(1974) 大阪芸術大学芸術学部舞台芸術学科・芸術計画学科を増設。
- 昭和50年(1975) 学院創立30周年記念式典を挙げる。
- 昭和53年(1978) 大阪芸術大学芸術専攻科(写真・工芸・音楽教育・演奏各専攻)を増設。
大阪音楽専門学校(各種学校)を大阪芸術大学附属大阪音楽学校(各種学校)に改称。
- 昭和56年(1981) 大阪美術学校(各種学校)を大阪芸術大学附属大阪美術専門学校(専修学校)として設置。
塚本英世記念館芸術情報センターを設置。
- 昭和57年(1982) 大阪芸術大学・浪速短期大学附属泉北幼稚園を設置。
- 昭和60年(1985) 学院創立40周年記念式典を挙げる。
- 昭和61年(1986) 大阪芸術大学芸術学部映像計画学科を同映像学科に名称変更。浪速短期大学伊丹学舎竣工。
- 昭和62年(1987) 第1回日中交流作品展を上海で開催。以後、隔年に大阪と上海で開催。
学校法人塚本学院白浜研修センターを設置。
- 平成 4年(1992) 学校法人塚本学院菅平高原研修センターを設置。
- 平成 5年(1993) 大阪芸術大学大学院芸術文化研究科(修士課程)を設置。
- 平成 7年(1995) 学院創立50周年記念式典を挙げる。大阪芸術大学大学院芸術文化研究科(博士課程)を設置。
- 平成 9年(1997) 大阪芸術大学大学院芸術制作研究科(修士課程)を設置。
- 平成12年(2000) 浪速短期大学を大阪芸術大学短期大学部に名称変更。
- 平成13年(2001) 大阪芸術大学通信教育部を設置。
- 平成14年(2002) 大阪芸術大学博物館を設置。
- 平成15年(2003) 大阪芸術大学芸術学部環境計画学科を環境デザイン学科に改称。
- 平成17年(2005) 学院創立60周年記念式典を挙げる。
大阪芸術大学大学院芸術文化研究科(博士課程)及び芸術制作研究科(修士課程)を芸術研究科博士課程[前期・後期]に改組。
大阪芸術大学芸術学部キャラクター造形学科を増設。大阪芸術大学短期大学部商業学科を経営デザイン学科に名称変更。
大阪芸術大学附属大阪美術専門学校にキャラクター造形学科を増設。
大阪芸術大学附属大阪美術専門学校デザイン工学科を総合デザイン学科に名称変更。
- 平成19年(2007) 大阪芸術大学テレビ開局。
- 平成20年(2008) 大阪芸術大学ほたるまちキャンパス開設。
- 平成22年(2010) 大阪芸術大学芸術学部初等芸術教育学科を増設。大阪芸術大学通信教育部芸術学部初等芸術教育学科を増設。
大阪芸術大学短期大学部経営デザイン学科をビジネス学科に、広報学科をメディア・芸術学科に名称変更。
- 平成25年(2013) 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校に総合アート学科を増設。
- 平成26年(2014) 大阪芸術大学スカイキャンパス開設。
- 平成27年(2015) 学院創立70周年記念式典を挙げる。
- 平成29年(2017) 大阪芸術大学芸術学部アートサイエンス学科を増設。
大阪芸術大学附属大阪美術専門学校総合アート学科をコミック・アート学科に名称変更。

大阪芸術大学

建学の精神

本学は「芸術における総合のための分化と境界領域の開拓を目指す」大学である。近代における学問及び芸術は専門化の一途をたどり、その専攻分野は極端なセクショナリズムにおちいるという弊害がしばしば見受けられるが、本学では伝統の形式にとられることなく、伝統の持つ精神を高揚し、新しい芸術を展開しようとしている。たとえば実用的合理性の尊重である。極端な芸術至上主義を排し、産業社会や、日常生活に密着した社会芸術としての性格を強調し、自由に材料の持つ法則とか可能性、あるいは材料と人間との相互の関係を探求して、豊かな創造力を伸ばしてゆくことを本学の方針としている。



自由の精神の徹底

学と芸の総合大学として秩序ある体系の上に自由の精神に基づき、私学としてのみ可能である学科編成をめざして高等教育にエポックを劃したい。

創造性の奨励

本大学芸術学部は芸術における狭義の創造性にとどまらず、科学技術・産業・交通・通信・政治・行政その他社会活動全般にわたり創造性を奨励したい。

総合のための分化と境界領域の開拓

近代における学と芸は、専門化の一途をたどりその専攻分野は極端なるセクショナリズムに陥るという弊害がしばしば見受けられるが、本学はこれを絶対に排し総合のための分化および専門化であることを絶えず確認し、特に境界領域における学と芸の盲点的存在となっている部分を注視し、新分野の開拓につとめたい。

国際的視野に立つての展開

東洋の日本、世界の日本という認識のもとに我国特有の学と芸に関する優れた伝統を国際的視野に立つてこれを深く掘り下げ、伝統の形式に囚われることなく、伝統の持つ精神を高揚して新しい芸術の伝統を展開したい。

実用的合理性の重視

本学は阪神産業地帯をヒンターランドとして開設されている立地条件にかんがみ、学と芸の実用的合理性を尊重してこれを実現したい。



大阪芸術大学のビジョン 2025

大阪芸術大学(大学院・通学課程・通信教育部)は、中期構想の9つのビジョンを策定し、現在および将来の本学を取り巻く状況を鑑み、次代へ発展し続ける大学を目指し、教育力の充実と強化に取り組めます。

■ビジョン 1

建学の精神の冒頭に掲げる「自由の精神」を尊重し、既成概念や過去の風習に捉われることのない、自由度と柔軟性の高い教育をさらに推し進めます。社会的秩序やルールの遵守、他者に対する理解など全人的教育を前提に、学生たちが自らの夢や未来に向けて自己実現を図れるよう、一人ひとりの個性と可能性を伸ばし、自由で主体的な学びの発揚を促す教育カリキュラムを構築します。

■ビジョン 2

芸術系のみならず幅広い分野に通じる創造性や柔軟な発想力、主体性や行動力を有する人材の養成を目指します。学生同士が集い、刺激し合い、融合しながら視野を広げ創造力を育めるよう、コース・学科を超えたコラボレーションや、学外との協同プロジェクト等の取り組みをさらに充実させます。あわせて少人数やグループによる専門教育を重視し、個々の独創性を伸ばすきめ細やかなサポート体制を深化させます。

■ビジョン 3

時代の変化に迅速に呼応し、新たな領域や境界領域へ積極的にアプローチしてきた本学は、近年も社会の要請に応える学科やコースをいち早く創設し、幅広い芸術領域を網羅しています。今後も引き続き新分野の開拓に努め、最新の活きた知識・技術を学べる教育カリキュラムを構築していきます。同時に、多様化する組織のセクショナリズムを排すべく積極的な学科間交流を行い、コミュニケーションの活発化を図ります。

■ビジョン 4

本学はアメリカ、ヨーロッパ、中国、韓国など海外の芸術系大学と姉妹校提携を結び、短期留学制度や海外セミナー、ワークショップ、交流作品展等を実施しています。グローバル化や価値観の多様化が進む時代にふさわしい教育を目的とした国際交流活動をいっそう促進し、日頃の授業では触れることのない多種多様な文化や価値観に接する機会を通して、国際的視野の醸成に資する学びをさらに充実させます。

■ビジョン 5

「学」と「芸」を融合して実社会に即した能力を磨き、芸術を通して社会や文化の発展に貢献するため、学修の成果を学内外で公開する実践の場を拡大します。演奏会や公演、展覧会、作品オークション等の催しや企画を積極的に実施し、技術の向上と芸術による社会貢献を体感できる機会を充実させます。また産官学が連携する企画等を通して、学びの過程や成果を実践的に展開しながら社会と接点を持つ教育活動を推進します。

■ビジョン 6

教育環境の向上に向け、キャラクター造形学科では2022年の竣工に向けて新棟建設が進行しており、全学的には100%耐震化を目指した耐震補強工事や水回りを中心とした老朽化施設の改修工事を順次実施します。またバス乗り場の屋根増築などアクセシビリティにも配慮し、学生がより安心して快適に学べる環境の整備を図ります。さらに太陽光発電設備による再生可能エネルギー活用、LED照明の導入、学内緑化など、エコキャンパス化と環境保全を推進します。

■ビジョン 7

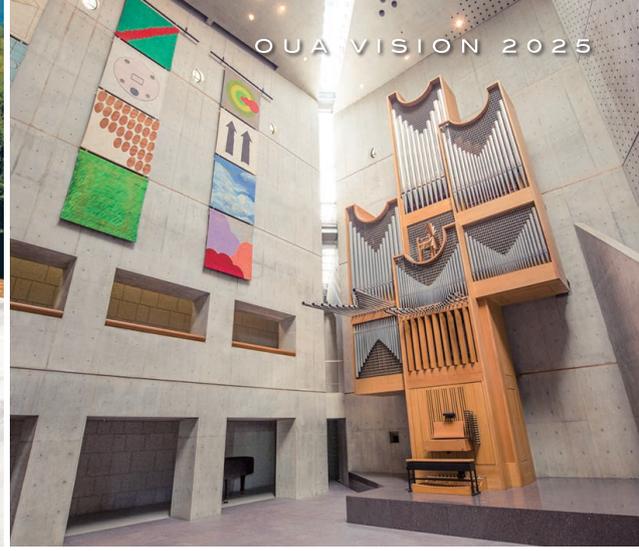
多岐にわたる芸術領域をカバーする総合芸術大学として、専門性の高い教員や実務経験豊富な教員など各分野の先端で活躍する人材を多数配置しています。今後さらに充実した教育を実践するため継続的に適正な人材を確保し、教員の年齢構成や教育の活性化も考慮しながら人材採用および配置の最適化を進めます。

■ビジョン 8

学びの意欲をサポートするため多彩な奨学金制度を実施しており、経済的支援を求める学生の要望により幅広く柔軟に応えるべく、制度の見直しや最適化に取り組めます。健康相談・心的相談・生活相談などの支援にも対応し、学生と教員のコミュニケーション充実を目指してオフィスアワー制度の導入を検討しています。

■ビジョン 9

1年次の早い段階から就職・キャリア支援プログラムを作成し、就職および進路に対するサポート活動を展開しています。企業就職や教員、作家・創作活動、大学院進学など様々な進路を希望する学生それぞれへの支援、エクステンションセンターによる資格取得支援など幅広く実施し、就職活動状況や学生の要望に応じた見直しと強化を行います。



大阪芸術大学短期大学部

建学の精神

大阪芸術大学短期大学部は、日本国憲法の精神に則り、私学の本分を尽くし、世界の平和と人類の福祉に貢献することを目的とする。また、広く知識を求めて学術の研究に励み、専門的技術の習熟に努め、もって心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。

本学の理念

1) 人間尊重の精神

創設者塚本英世初代理事長・学長は、「人の心に愛を産みつけることのできる教育」を目指した。この人間尊重の精神は、青空子ども会、青い鳥幼稚園、そして幼児教育への取り組みへと受け継がれ発展してきた。

2) 外国語教育と国際化への視座

戦後の英語教育の重要性が、本学創設の原点である。外国語を学ぶことを通して、世界の分化、歴史、社会への理解を深めるとともに、国際交流を精力的に推進している。

3) 実学と学問の有用化

社会に貢献できる人間を育成するために、時代の変化に伴って、本学の学科は増設されてきた。各学科においては、一般教養による人格の陶冶とともに、専門教育による有用な知識や技術の習熟を目指している。

4) 自由の精神の徹底

自由の精神を徹底することにより、豊かな創造力を伸ばすとともに、明るく活発で進取の気性旺盛なスクールカラーを生み出している。

5) 芸術との出会い

芸術教育及びその実践を通し、既成の価値観を乗り越える創造性を奨励するとともに、感性と理性との調和した豊かな人間性の涵養を図っている。



大阪芸術大学短期大学部のビジョン 2025

大阪芸術大学短期大学部(通学課程・通信教育部)は、中期構想の9つのビジョンを策定し、社会や技術の進化、人材需要の変化に対応しながら今後も継続的な発展を目指し、教育内容の充実と向上を図ります。

■ビジョン 1

保育学科では、愛をはぐくむ保育者の育成を目指し、豊かな人間性と感性を養う教育を実践しています。4園の附属幼稚園を備え日常的に子どもたちにふれあえる環境のもと、音楽や造形、表現など情操教育に比重を置いた総合芸術大学ならではの教育の強化に取り組みます。

■ビジョン 2

大阪芸術大学グループとして海外の芸術系大学と姉妹校提携を結び、海外セミナーや交流作品展等を実施しています。グローバル化や価値観の多様化に対応するべく国際交流活動を促進し、多種多様な文化や価値観に接する機会を通して、国際的視野の醸成に資する学びのさらなる充実を図ります。

■ビジョン 3

「学」と「芸」を融合し、その成果を積極的に発信できる場が多い本学の魅力をさらに増幅させます。演奏会や作品展等の催しや企画をいっそう充実させ、本学で磨いた表現力や技術力を実践的に発表する場を拡充します。また産官学が連携するプロジェクトを推奨し、地域や社会に貢献できる人材を育成します

■ビジョン 4

既存概念に捉われることのない、自由度と柔軟性の高い教育の維持・発展を目指します。社会的秩序やルールの遵守、他者に対する理解など全人的教育を前提に、学生たちが自らの夢や未来に向けて自己実現を図れるよう、一人ひとりの個性と可能性を伸長する教育カリキュラムや、自主的な学びの発揚を促す取り組みをさらに拡充します。

■ビジョン 5

学内外でのコンサートや展覧会等、幅広いジャンルの芸術に触れる機会の充実を図ります。また学生同士が刺激しあい、融合しながら創造力を育めるよう、コースや学科を超えたコラボレーション、学外との協同プロジェクト等を実施するとともに、個々の独創性を尊重するきめ細やかなサポート体制を深化させます。

■ビジョン 6

大阪学舎では保育学科の模擬乳児保育室や工作室、伊丹学舎では芸術系学科の芸術ホールや展示室、テレビスタジオ等、専門的な学びに特化した実習施設を有しており、今後も最新の映像音響機材などニーズに対応する先端設備を導入して教育環境の向上に努めます。耐震補強工事や老朽化施設の改修工事を順次実施し、学生がより安心して快適に学べる環境の整備を図るとともに、LED照明の導入や学内緑化などエコキャンパス化と環境保全を推進します。

■ビジョン 7

保育および多岐の芸術領域をカバーする総合芸術大学の短期大学部として、専門性の高い教員や実務経験豊富な教員など各分野の先端で活躍する人材を多数配置しています。今後さらに充実した教育を実践するため継続的に適正な人材を確保し、教員の年齢構成や教育の活性化も考慮しながら人材採用および配置の最適化を進めます。

■ビジョン 8

学びの意欲をサポートするため多彩な奨学金制度を実施しており、経済的支援を求める学生の要望により幅広く柔軟に 대응べく、制度の見直しや最適化に取り組みます。職員と学生との密接なコミュニケーションで健康相談・心的相談・生活相談などの支援にもきめ細かく対応し、さらなるサポートの充実を目指して学生相談室の運営体制の見直しや整備を進めます。

■ビジョン 9

入学時の早い段階から就職・キャリア支援プログラムを作成し、就職および進路に対するサポート活動を展開しています。学生一人ひとりの資質や希望を尊重しながら、個人面接やガイダンス、セミナー、4年制大学への編入学指導、また保育学科では幼稚園・保育所・施設への就職に向けた様々な支援を実施しており、社会状況と学生の要望に応じたさらなる見直しと強化を行います。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

教育理念

- 1) 芸術における自由な精神の尊重を踏まえ、広い視野に立った豊かな創造性を育てる。
- 2) 専攻分野での極端なセクショナリズムを排し、総合的な学問と芸術の両立を確立させる。
- 3) 高度な職業能力を身につけた人材を育成し、社会に貢献することを目指す。



大阪芸術大学附属大阪美術専門学校のビジョン 2025

大阪美術専門学校は、大阪芸術大学附属校として大学と共通の建学の精神を掲げつつ、中期構想の7つのビジョンを策定し、知識と技術における基礎力の充実と応用能力の向上を徹底する一方、今後も社会構造の変化に対応しながら教育カリキュラムの見直しやコース再編等に取り組みます。

■ビジョン 1

常に新たなモノづくりに挑戦する自由闊達な精神を尊重し、自由度と柔軟性の高い教育の維持・発展に努めます。学びの選択肢を豊富に用意し、他コース授業の受講や転コースをはじめフレキシブルな教育カリキュラムを推進するとともに、大阪芸術大学グループとしての海外セミナーや国際交流展など、一人ひとりの個性と可能性を伸ばし、豊かな創造性を育む学びを充実させます。

■ビジョン 2

実社会に即した能力を磨き、芸術を通して社会や文化の発展に貢献できる機会を拡充します。学内外のコンクールやイベントで作品を発表する機会をシラバスに盛り込み充実させる一方で、産学協同プロジェクトやコンペ等への積極的な参加を図り、学びの過程や成果を実践的に展開しながら社会と接点を持つ質の高い教育活動を推進します。

■ビジョン 3

社会的・実践的な対応力や仕事に対する責任感を高める学びへの取り組みを強化します。最先端の職業人を招聘する特別講義、業界ニーズや学生の意識変化に即したカリキュラムの見直し、インターンシップ等に注力するとともに、地元団体とのボランティア活動等も推奨し、技能習得のみならず「人間力」と高い就労意識を育て、社会に貢献できる人材の育成に取り組みます。

■ビジョン 4

専門性と実践性の高い学びを提供できる充実した教育施設・設備を整備しており、コンピュータ室への最新のパソコン導入をはじめ、今後もさらに施設や設備の拡充を行います。またLED照明の導入や空調設備改善、老朽化施設の改修工事等を順次実施し、学生がより安心して快適に学べる環境の整備を図ります。

■ビジョン 5

2学科10コース13分野を開講する専門学校として、専門性の高い教員や実務経験豊富な教員など様々な角度から学生の能力向上を図る人材を配置しています。さらに個々の学生の資質やスキルを見極めたフレキシブルな教育を実践するため、教員の年齢構成や教育の活性化にも配慮しながら力量のある人材の積極的な採用と配置を進めます。

■ビジョン 6

学びの意欲をサポートするため多彩な奨学金制度を実施しており、経済的支援を求める学生の要望により幅広く柔軟に応えるべく、制度の見直しや最適化に取り組みます。健康相談や心的相談、生活相談などにも対応し、カウンセラー室など学生生活全般に渡ってよりきめ細かく支援できる体制の整備を行います。また外国人留学生に対する相談窓口の強化を進めます。

■ビジョン 7

1年次から就職・キャリア支援プログラムを作成し、就職および進路に対するサポート活動を展開しています。2020年度入学生よりコミック・アート学科でキャリアデザインの科目を新たに設置し、職業観の形成や就職活動の意識づけを促進します。学生一人ひとりの資質や希望を尊重しながら、ガイダンスやセミナー、個人面談、4年制大学への編入学指導など様々な支援を実施し、社会状況と学生の要望に応じた見直しと強化を行います。



大阪芸術大学附属幼稚園

教育方針

「生きるちから」と「思いやりのこころ」を遊びを通して育み、
のびのびと感受性を磨く保育



松ヶ鼻幼稚園



金剛幼稚園



照ヶ丘幼稚園



泉北幼稚園

大阪芸術大学附属幼稚園のビジョン 2025

大阪芸術大学附属幼稚園は、中期構想の4つのビジョンを策定し、あくまでも教育の場である幼稚園本来の目的を重視した上で、大阪芸術大学の附属幼稚園という強みをいかし、子どもたちにとって真に有意義な質の高い教育を推進します。

■ビジョン 1

「本物」に触れる体験や主体的な遊びを重視して、子どもたちが自ら興味や関心を広げ、生きる力の礎となる健やかな体と豊かな心を育みながら、互いを思いやり協力することの大切さを学べる教育の推進に努めます。日本の伝統文化を学ぶ茶道の稽古や、礼節を身につけ怪我をしにくい体づくりを行う柔道、自らの手で野菜を育て料理する食育活動など、様々な「本物体験」の機会を充実させて、子どもたちの可能性をさらに広げます。

■ビジョン 2

総合芸術大学である大阪芸術大学の附属幼稚園として、グループ校の施設・設備・人材などの教育資源を活用した体験活動の機会を充実させ、4つの附属園の交流や連携を通して特徴ある活動カリキュラムの強化を行います。大学教員による芸術指導や、大阪芸術大学附属大阪美術専門学校の教員および学生の指導による本格的な作陶体験、タブレット端末体験(泉北幼稚園)、4園合同音楽会など、質の高い情操教育につながる多様な活動に取り組みます。

■ビジョン 3

安心安全で豊かな保育環境を実現するため、施設の整備や安全管理に関する取り組みを継続的に実践します。保護者の送迎と一斉降園を基本として保護者とのコミュニケーションをいっそう促進し、保護者との連携強化や保護者の理解・支援に努めます。また地域の子育て支援にも貢献し、保護者と地域から信頼される幼稚園を目指します。

■ビジョン 4

大阪芸術大学初等芸術教育学科および短期大学部保育学科と緊密な連携を図って教育力のさらなる向上に取り組みながら、未来の教育者の育成にも尽力します。大学および短期大学部からの教育実習生の受け入れ体制を整備して、実習生の指導やフォローを細やかにを行い、個々の学びと成長を援助します。実習園としての実績と魅力を高め、総合的な教育力の向上と優れた幼稚園教諭の採用につなげます。



学校法人塚本学院 大阪芸術大学グループ ビジョン2025

発行日 2020年4月

編集 学校法人塚本学院法人本部企画広報部

発行 学校法人塚本学院

〒585-8555 大阪府南河内郡河南町東山469

電話 0721-93-3781 (代表)